

## ■第5回 都市と地域コミュニティの持続可能性に関する懇談会 意見交換要旨

### 【地域の担い手】

- ▶働いていて**時間に余裕のない方が多い**中、自治会などの**地域活動に対応できる人材**を確保できるかが課題と考える。
- ▶核となるまちづくり協議会の人材が短期的に変わっていく中で、どのように地域活動の**中心となる人材を確保する仕組み**を作っていくのか考える必要がある。
- ▶**若い世代**は指示を受けて動くなど**受け身の傾向**があり、今後、その世代が地域活動の核になったときに、うまく**地域の仕組みを回すことができるのか**懸念がある。
- ▶地域において**挨拶することが地域コミュニティのスタート**かもしれない。
- ▶企業の**事業承継**においても承継者の確保は課題となっており、**地域**における**担い手確保**はより**課題感が大きい**のではないかと推察する。
- ▶一般的には、**協働のまちづくり**に参加することは**ハードルが高い**と思われがちである。一方で、身近な**小さなこと**で協働のまちづくりにつながっている人は多いのではないか。
- ▶地域活動を行っている**次世代**の方のポジティブな面に焦点を当て、担い手となる人材を地道に**コツコツと増やしていく**ことが大切である。
- ▶子育て中の女性の**インフルエンサー**がまちづくりに関係するアンケートを行ったところ、300人の子育て中の女性の回答が集まった。そのような人を**巻き込んで**、少しずつ、**まちづくりに関係してくれる人を増やしていく**ことも重要だと考える。
- ▶**まちづくりの主体**は行政や専門家といった**イメージ**があり、**自身が主体**であるということについて**意識が希薄**であったと認識した。
- ▶自治会加入率が下がる要因は金銭的、年齢的な理由など様々。自治会としていかにまとめていくのが課題だと思っている。地域によっては**ITなどを活用して自治会活動に役立てたい**という若い世代がいる。若者の参画を大切にしたい。
- ▶**協働のまちづくりの定義**について**ハードルを上げ過ぎている**のではと考える。少しの参加でも「まちづくり」と言えるよう**変える**ことで、**多くの市民が関心**を持つようになる。
- ▶**後継者不足**が課題だが、例えばまちづくり協議会の会計の部分は嘱託職員、もしくは**定年後の人材**を上手く巻き込めば解消できないかと考えている。**金融機関の退職者**が**会計の補助**を行っているという地域がある。
- ▶地域活動に**地元の企業**が**関与**することが望ましい。例えば、**DX**など効率化の面で関与し、**生産性の向上**を進めるなど、企業の参画が進むと良い。
- ▶地域の担い手不足に関して、**状況が急に変わることは難しい**。地道に、**できることからやる**ことがとても大事だと考える。
- ▶カジュアルに**みんながまちづくりに参加する**ようなまちになれば良いと考える。どういった形が**理想**なのかしっかり**イメージ**を持つことは大切である。
- ▶**地域**には**多くの中小企業**が存在する。そのような地域に根ざした企業がまちづくりに**関わる仕組み**ができれば良いと考える。

### 【地域コミュニティの組織の在り方】

- ▶ 将来的な理想として、**小規模多機能自治**の機能を持った組織が地域の**財源を一括で担う**とのことだが、会計処理や監査などの**膨大な作業量**が大きな負担となることが懸念されるのではないか。
- ▶ **地域をまとめていくには自治会またはまちづくり協議会**の活動が**大変重要**になってくると考える。
- ▶ **まちづくり協議会**も**多様な活動**を行えば**財源が不足**してしまう。現状でも自治会から補填している部分があり、**事業費の確保**が課題である。
- ▶ **子どもの頃からまちづくりに関わる機会**があることが**重要**であり、それを支えるような地域の仕組みとして**小規模多機能自治**を推進してはどうか。
- ▶ 地域には様々なNPOなどの団体が存在する。講演資料にも説明があった**中間支援組織**がうまく**地域と団体をマッチング**していけば、**地域コミュニティが強くなっていく**と考える。

### 【自治会加入、地域活動参画に関する啓発】

- ▶ **自治会の魅力**をPRすると資料にあったがどのように行うのかが課題だと感じる。そもそも自分たちの世代は**自然と加入するもの**だと考えていた。
- ▶ 自治会に加入するメリットは、**地域の情報を得たり、地域の方と話ができる貴重な機会**であり、**地域とのつながりを実感**できることであると考えます。
- ▶ 実際に**自治会に入ったら何ができるのか、どのような支え合いを行うのか**を知らない若者は多い。自治会について積極的に調べる若者は少なく、そのような**無関心な層**に対し、**どのように関心を持ってもらうか**が課題である。
- ▶ 現代の**若い世代**は、行政や**まちづくり**といった堅いイメージやテーマに関して、**拒絶したり遠ざけたりする傾向**があると感じる。そのため、**小さい頃から社会とつながりを持つことの重要性**や**まちづくりの主体が自分たちであること**の認識を自然に伝えていくことが必要だと考える。
- ▶ 地域の情報を得ることや地域に関わること、参加することが**地域活動**になる。**子どもの頃に自然にまちづくりに関わる機会**をより**広げる**ために、行政が予算を充てると良いのではないか。